

お

「お行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

お おー【麻】 麻や麻^{まおらん}黄蘭の繊維 麻紐 麻縄
 お おー おどう【尾根】 ridge 峰 山の稜線
 お おー そうだ うん（目下に対する返事）
 おあがりくだっせ おあがりまっせ お上がり下さい
 おあがんなっせ お召し上がり下さい
 おい【俺】おっ おり おる 自分 自称《京》《有明・牛深》〈れ→い転音〉
 おい【居る】 《牛深》〈る→い転音〉
 おい おーい 目下の者に呼びかけることば 返事「そうだ」
 おいうつ〈追い打つ〉 追銭を払う 追加する
 おいおい【追々】 次第に 徐々に 段々と 近々 追っつけ
 おいがつ おいがと 俺の物 独占権《牛深》
 おいかくる【追い掛ける】 chase
 おいげ おっげ おりげ〈俺家〉 私の家 我が家 拙宅《牛深・苓北》
 おいげんと おっげんと 俺の女房 家内《牛深・苓北》
 おいこくる おいたくる おいまくる 追い回す
 おいこら おいこりゃ 目下の者を呼び止めたり咎めることば
 おいさらばえて 老いぼれて 痩せ細って
 おいしえ(せ)ん【追銭】 負い銭 追加の金
 おいずる 【御出^{おいで}る】 居らっしゃる おいでのになる
 おいそれと 直ぐさま 簡単に 短兵急に 俄に 出し抜けに
 おいだ おいどま おっだ おったちや 俺たちは
 おいだき【追い焚き】 煮た物にもう一度火を通す
 おいちーた 追い付いた
 おいつかん おっつかん 間に合わない 手遅れ 後の祭り
 おいでた【御出^{おいで}た】 居らっしゃった ご在宅《京》
 おいでとらす おいでとんなす おいでになって居らっしゃる
 おいでなさる おいでなはる おいでる《京》 居らっしゃる
 おいでなした おいでました 【御出^{おいでま}座す】 いらっしゃいました
 おいでなすか おいでますか 【御出^{おいでま}座す】 ご在宅ですか
 おいでなっせ おいでなはりまっせ おいでまっせ いらっしゃいませ
 おいでなっせん おいでなはらん おいでん おんなはらん 居ない ご不在
 おいと 居る be 《牛深》 「えーおいと」家に居るよ
 おいとけ おいていっちょけ 置け 放っておけ
 おいどま おいどみや 俺たちは《牛深》
 おいどん おっどみ おっども おっどん おどみ おどん【俺共】 俺たち
 おいはなし【生い放し】 放牧 牛等を係留しないで飼育する

おいまくる【追い捲る】 激しく追い回す rout
おいも 俺も 俺だって《牛深》
おいもわいも 俺もお前も 誰でも《牛深》
おうおうにして【往々】 一般的に 大体に於いて
おうかん おうくわん【往還】 往来 街道 road 《京》
おうきに《京》 おうけに 大いに 有り難う thank you
おうこ《京》 おうこぼう おこ 古語【^{あふこ・おうこ} 杓】 横衡棒 天秤棒 担い棒 《京》
おうじえ 何故か どうも どうやら 妙に 変に 不思議
おうじょ おうじょう《京》 古語【^{わうじやう} 往生】《梵語》death 死ぬ die
おうじょする 死ぬ death ②閉口する 手をやく 困り果てる 難儀する
おうた 古語【会ふ】 会った 遭った 逢った《京》
おうた 古語【合ふ】 合った 調和した 引き合った
おうた 古語【負ふ】 負った 「借金負うた」
おうた【追った】 「後追うた」
おうだ【編んだ】 毛糸などを相互に組んだ [あ]の転音
おうたぎり おうたがさいご 会ったっきり 会ったのが最後
おうたろ おうたろが おうたろもん 会ったでしょう
おうたろ おうたろば おうつろば 会ったならば
おうちみゆう おうてみゆう 会ってみよう
おうちゃく 古語【横着】 横柄 凶々しくずるい ②怠ける《日ポ・京》
おうちゃくもん【横着者】 横柄な人 ずるい人 凶々しい人
おうちゃっか【横着】 凶々しい ずる賢い 生意気
おうちゃならん おうてにゃならん 逢っては行けない
おうである おうどる 編んである [あ]の転音
おうてみゆう おうてみゆうだ 会ってみよう
おうど《日ポ・京》 おうどか おどか 古語【^{わうだう} 横道】 横着で乱暴 横柄 意地悪
おうどっこ おどっこ 意地悪 悪口 悪態
おうどっぼす おうどぼうず おどぼうず 横着者 ②悪戯っ子
おうどもん おどもん 古語【^{わうだう} 横道】 横着者 悪戯者
おうとらん 会っていない ②合っていない 合致しない
おうとる 会っている ②合っている 合致している《京》
おうとろい おうとろし おやまあ 怖い ②大したものだ
おうなきやなれ おうなけ おうなけなれ 仰向きになれ
おうなく 古語【仰のく】 look up 仰向く 上向き《日ポ》
おうにゃーた おうねーた 仰向きになった
おうにゃーとれ おうねーとれ 仰向きになれ
おうへいな【横柄】 横着 威張って傲慢な《京》
おうようか 古語【鷹揚 大様】 大らか 寛大で拘らない《日ポ》
おうらい【往来】 highway 行き来 道路 road 大通り
おうらえる おうらゆる 手加減する 我慢する 制御する

おうらえろ 手加減しろ 我慢しろ 制御しろ
おえー おおか【多い】much . many 多すぎる
おえーできた おえってきた 泳いで来た
おえーでけ おえつけ 泳いで来い
おえーでみろ おえーでん おえでみさい おえんみろ 泳いでご覧
おえかぶる【生え被る】 髪や髭が伸び放題になる
おえた おえってきた【生えた】 発芽した
おえっこん おえてこん 生えない 芽吹かない
おえとる 生えている 発芽している
おえとる【老いる】 熟し過ぎている ②食べ頃を過ぎている
おえぬき おえぬぎ【生え抜き】 土着の人 生誕地の居住者
おえん 手に負えない 始末が悪い どうしようもない
おえん おえとらん 生えない 芽吹かない
おーが おが おりが おるが【俺が】 自分が
おおかた【大方】generally 大凡 almost 大体に於いて《京》
おおがない【大家内】 大家族《京》
おおきに おおけに 有り難う thank you 《京》
おーきならん おきーならん 置けない《御所浦 竜ヶ岳》
おおぎょうか 古語【大仰^{ぎやう}】 大袈裟な
おおぐちたたく 大言 偉そうなことを言う 豪語する
おおぐらい【大喰らい】 大食家 大食漢
おおごつ おおごと《京》【大事】 大変 very 一大事
おおごっじゃらした おおごっじゃんなした 大変でしたね
おおごてしなる おおごてひなる 重大事になる 大事に至る
おおざむる おおざめる 奇異に思う 呆れる
おおしあぐる 古語【生し上ぐ^{おほ}】 手を尽くして一人前に育てる
おおしそくのうた おうしそこのうた 育て損なった
おおじょけん 大方の所見 世間一般に 誰が考えても
おおす 古語【生ほす^{おほ}】 養育する 手を尽くして育てる 生育 伸ばす
おおす 古語【果す^{はた}】 果す 成し遂げる 「逃げ果す」
おおせくだっせ おおせつけまっせ 古語【仰す^{おほ}】 仰ってください
おおそうどう おおそど【大騒動】agitation
おおそれたこと 大層なこと 大仰なこと《京》
おおっぴら 公然と 隠さず
おかお 重病人の便器 簡易便器
おかざーいらん【お数】 おかずは要らない
おかさん おかちゃん【お母さん】 母親 mother
おかしえ(せ)っくだっせ 置かしてください
おかしえん (おかせん) 置かせない
おかしか 古語【可笑し^{をか}】 可笑しい 滑稽だ 面白い

おかしか 悪い bad 拙い ②醜い ③変だ 怪しい strange
おかしなもん 不思議だ 変だ 妙だ ②調子が悪い
おかしゅうい おかしゅうして おかしゅうて 滑稽で 可笑しくて
おかしゅうして 拙くて 粗悪で 醜くて
おかしゅうなった 悪くなった 拙くなった ②故障した
おかしらつき 神殿へ供える鮮魚 ②頭の付いた鮮魚
おかっさー 可笑しいね 滑稽だね 面白いね
おかっさー 悪いな 拙いね 醜くないな ②変だね ③怪しいね
おかっしゃー おかっせー(しえ) 可笑しさに 面白さに
おかっしゃー おかっせー(しえ) 醜くさに 拙さに 粗悪さに
おかっつあま【御方様】 令夫人 奥方 奥様 madam
おかべ 古語【御壁】 ②豆腐(女房ことば)
おかぼ〈陸穂〉 陸稻
オガミダロウ オガンダロ ^{カマキリ} 蟻螂 カマキリ科
おから 豆腐の糟 卵の花《京》
おかれん おけん 置けない 放置できない
おかれんこん【陸蓮根】 オクラ Okra アオイ科の一年草
おがんもす【^{おきび} 拝み申す】 拝む 祈る pray 礼拝する
おき 古語【燠】 炭火 焚火の燃えさし《京》
おきー おきさにゃ おきさね おきさん【沖に】
おきざきんなか 置き場所がない
おきしな 古語【起く】 起きる時《京》
おきっぱな おきざまに 起床直後 寝起き様に
おきっぱなし 置いたまま
おきとらす おきとんなす 起床していらっしやる
おきばえ 南西の風
おきゃん【御侠】 活発な娘 お転婆
おきゅい おきゅうだ おきゅうわい 起きようよ
おきらん おきん 着火しない ②起きない ③起動しない
おきる 古語【燠る】 着火する ②勃発する ③エンジンが起動する
おきれ《京》 おきろえ …ぞ おきんかい 起きなさいよ
おぐし 古語【御髮】^{おぐし} hair 頭髪 髪の毛
おくってー おくつで おくるけん …せん 送りますから
おくて 古語【奥手】 晩手 晩稻 遅咲き ②生育不良
おくばい おくばえ 南西風《栖本》
おくび げっふ
おくびもださん 奥床しくて上品
おくまる 奥深くなる
オクラ Okra アオイ科の一年草(野菜)
おくらかす おくれかす 遅らせる

おけーた おけた 起こした ②目を覚まさせた
おけーつけ おけーてけ 起こして来い ②目覚めさせろ
おけとる 起きている 起床している《五和》(転音)
おごーだ 拝んだ お祈りした お詣りした
おこがましか〈烏澁がましい〉 差し出がましい
おごじょ 娘さん daughter 《御領》
おこせ 起こしなさい ②目覚めさせてこい
おこぞり〈海髪剃り〉 死者の剃髪をしたり髭を剃ること
おこた【炬燵】 炭火の暖熱器 《京》
おごったくる おごつつらかす【叱り散らす】 ひどく叱る
おごったっちゃどい 叱っては駄目だ
おこなう 虐める torment 虐待する いびる 手込めにする
おこなえん 出来ない どうしようもない 仕方がない
おこのうた おこぬうた 虐めた 虐待した いびった
おこもり〈お籠もり〉 人が中に引き籠もる(神事)
おごらいた おごらした おごらった 叱った 怒鳴った
おごらした おごんなはった 振る舞われた 接待された
おごらっさん おごんなはらん お叱りにならない
おごらりゆうもん おごらるっどだ 叱られるだろうよ
おごらるる おごられる 叱られる ②怒鳴られる
おごらるっとん 叱られるぞ 怒鳴られるぞ
おごられおごられ 叱られながら
おごられた 叱られた 怒鳴られた
おごられん 叱られない 怒鳴られない
おごらん エンジンが起動しない ②着火しない
おごらん 叱らない 怒鳴らない
おごりはたがる おごる 古語【驕る】 威張り散らす
おこる 古語【燠る】 熾る 着火する ②勃発する
おこる 家畜が発情する
おごる【奢る】 贅沢する ②振る舞う ご馳走する
おごる【叱る】 叱責する 叱咤する ②怒鳴る 怒る
おごるもんなるか 叱るものではない
おごれ【奢れ】 振る舞え ご馳走しなさいよ
おこわ 古語【強飯】 赤飯《京》
おごんな〈叱るな〉 ②怒鳴るな
おごんなすな おごんなはんな 叱りなさいますな
おさ 古語【長】^{をさ}chief 代表者 指導者 長老 頭領 leader
おさ ^{えら}鰓 ^{えら}腮《日ポ》 魚の鰓
おさまりんつかん おさまんノつかん 決着しない
おざなり【お座成り】 その場限りの間に合わせ

おしあいへしあい 大勢が押し合うほど混雑する

おしあなンかぜ おしやなンかぜ 南東の風

おじい【叔父 伯父 小父】uncle 父母の兄 父母の弟

おしーこたした 惜しい 残念なことをした

おいしいもん おしかー 惜しいものだ 惜しいね 残念だ

おしーもん おせーもん おっさー 遅いものだ 遅いね

おじえ 何故か どうも どうやら 妙に 変に 不思議

おじえーこつ 難儀な事 困った事 厄介な事 気の毒 残念 惜しい

おじえーこつじゃんした 大変なことでしたね 気の毒でした

おしえなっせ おしえっくだっせ おそえなっせ 教えてください

おじえん【御膳】^を食膳 食卓 dining table

おしか 古語【惜し】 惜しい wasteful 残念 勿体ない

おじぎ【お辞儀】 頭を下げる 敬礼する

おしきせ 古語【お仕着せ】 奉公人に与える衣服《京》

おしきり …ぼうちょう【押し切り】 汁物 手延べの麺料理

おしくーで おしこうで【押し込んで】

おじくる おじけづく 古語【怖づ】 怖じ気てひるむ 怖がる

おしげむなか おしげもなか【惜し気】 惜しい様子もない

おしげむのう おしげものう 惜しみなく

おじけもん【怖じ気者】 臆病者

おしごみ【押し込み】 押入 closet 収納庫

おじじ おじん お爺さん grandfather

おじた 古語【怖づ^お】 怖じけた 恐れた 恐くなった

おしつくる 古語【押し付く】 押し付ける

おしつけがましか 物事を無理に押しつけようとする

おしなべて 古語【押し並べ】 総じて ひっくるめて《京》

おしのくる 押し退ける 排除する

おしばえ 南東の風

おしぼうちょう【押し包丁】 汁物 手延べの麺料理

おしめ【襦^{おしめ・むつき} 褌】 おむつ 大小便を受ける布《京》

おしめり 慈雨 適度の降雨 潤い be moisture《京》

おじや 雑炊 野菜や魚肉などを入れたお粥《京》

おしやか【お釈迦】 《梵語》 ②駄目になる 不良品 ③死ぬ

おしやなごち おしやなンかぜ 南東の風

おしやま おしやめ おませ おませな女の子

おじやまする【邪魔】 お伺いする 訪問する

おじやみ おじやめ お手玉 子供のおもちゃ《京》

おしやる おっしゃる 古語【押し遣る】 ②先に延ばす

おじやん 使い物にならない 役立たなくなる《京》

おしゆうかい おしゆうわい 教えようか 言って聞かせようか

おしゅうして おしゅうて 惜しくて
おしゅうなか おしゅうにゃー 惜しくない
おじゅつさま おじゅつつあま 浄土真宗の住職
おしゆる 古語【教える】teaching 知識や技術を取得させる
おじる おずる 古語【怖^おづ】 怖じける 恐れる
おじる【下りる 降りる】get down
おじれ おじろ【下りれ 降りれ】
おじん 小父さん uncle ②未婚で初老の男性
おすう おすうに【遅く】 遅くなってから 遅めに ②後で
おすうい おすうして 遅くてね
おすうげん【遅く】 遅めに 遅くなってから《楠浦 下浦》
おすうしなる おすうなる おそうなる 古語【遅なはる】 遅くなる
おずうだ おずうどる おずだ 目を覚ました
おずおず【怖^おず怖^おず】 怖れてためらう 恐々 おどおど びくびく
おすか おそか 古語【遅し】slow 遅い 鈍い
おずまする 眠りから覚めさせる
おずまん 目覚めない 熟睡している
おずむ おぞむ 目覚める 目を覚ます《日^おボ》
おぜー 何故か どうも どうやら 妙に 変に 不思議と
おぜーこっ 難儀な事 困った事 厄介な事 気の毒 残念 惜しい
おぜーこっじゃんなした 大変なことでしたね お気の毒でした
おぜん【御膳】 食膳 食卓 dining table
おせんや 地搗き 土搗き よいとまけ《荅^お北》
おそえる《京》 おそゆる 古語【教える】teach 知識や技術を授ける 指導する
おそえろ 教えろ ②知らせろ
おそえん 教えない ②知らせない
おそそ おまんこ おめこ 女性性器 ワギナ vagina 《京》
おぞましか【悍^おしい】 恐ろしい ぞっとする 気味悪い
おそもん 晩^お生 晩^お稲
おそろしゅう おとろしゅう 驚く程に 意外と 案外
おだいっさま【お大師様】 弘法大師 空海 真言宗の開祖
おだえた おだれた 勢力が衰えた 気持ちが緩んだ
おだか 妊娠しなくなった母牛
おたく【お宅】 相手の家 ②貴方 you 《京》
おたく おたくさん あなた様 [貴方]の敬称
おだたき 雨叩き 雨でとぼちりが掛かる
おだつる【煽^おてる】incite 誉めてそそのかす もちあげる
おだつんな そそのかすな 扇動するな
おだてん 扇動しない 誉めない
おだぶつ 古語【御陀仏】die 死ぬこと お終い 駄目になる

おだまき〈苧環〉 紡いだ麻糸の玉
おだえる おだゆる おだるる おだれる 勢力が衰える 気持ちが緩む
おだえん おだれん 気力や体力が持続する 中弛みしない
おたんちん 馬鹿 fool うすのろばげん《御領》
おちおち【落々】 落ち着く ゆっくり
おちおちしとられん 安心できない
おちくーどる おちこーどる 落ち込んでいる ②暴落する
おちた おちぶれた〈落ち魄れた〉 貧乏になった 墮落した 零落
おちちーた おてちーた おてついた 落ち着いた 安堵した
おちつかん おてつかん 落ち着かない 安心しない
おちど【落ち度】 過失 fault 過ち 手落ち 手ばかり《京》
おちとる おてとる 落ちている 取れている
おちめ 天気が下り坂になる ②人気や家運が落ちる《京》
おちゃのこさいさい 手軽にできる へいちゃら 平氣の平左
おちゃひく〈お茶引く〉 徒勞 無駄骨 骨折り損
おちゃめ【お茶目】 愛嬌ある悪戯好きな女兒
おちよくるあざけ 嘲ちやうろうる 嘲弄する からかう tease 𢇛るなぶ《京》
おちよぼぐち 小さくて可愛い口 《京》
おちよめちよ【雄蝶雌蝶】 男兒と女兒による婚礼儀式
おちらいた 落雷した《大矢野 御所浦》
おちらした おちらった おてらした 落雷した(事象敬語)
おちん おてん 落ちない ②汚れが除去しない
おつい《京》 おつゆ 古語【大御おつけ】おみ 味噌汁 汁物
おついのみ おつけのみ 味噌汁の具
おっが おりが おるが【俺が】 私が 自分が
おっかさん おっかちゃん おかさん お母さん mother
おっがっ おっがっ おっがと 俺の物 私の物
おっきせろ 起きなさい ②目を覚ましなさい(幼児語)
おっく おっくんほう 奥深い所 奥の方
おっくーか【億劫】《梵語》troublesome 気が進まない 面倒臭い
おつけ 古語【大御おつけ】おみ 味噌汁《日ポ・京》
おっげ おりげ〈俺家〉 おるげ 私の家 拙宅
おっげんと おりげんと おるげんと 俺の女房 家内
おつけのみ おつゆのみ 味噌汁の具
おっことす 落とす fall 失う lose
おっさー 遅いね 遅いではないか
おっぎきノなか おりぎきンなか 居場所が無い
おっさん おっちゃん おっつあん【小父さん】uncle《京》
おっじえー おるじえー 居るぞ《佐伊津》
おっじゃか おりじゃか おりじゃなか 俺ではない

おっしゃさす おっせーさす 惜しがられる
おっじゃっか おったー おるもね 居るではないか 居るぞ
おっじゃもね おりじゃもね 俺だよ
おっしゃる 古語【押し遣る】 先に延ばす
おっじゃろ おりじゃろ 俺のことだろう 俺のことかい
おっじゃろう おりじゃろう 俺としたことが
おっしゃんな【押し遣るな】 押すな 先に延ばすな
おった【居た】 居住した 滞在した その場に留まった
おったー おったい おりたい おりばい おりばえ 俺だよ
…おった …していた 「行きおった・来おった」
おっだ おったちや おっどま おっどみや 俺たちは
おったがー おったぞー おったばえ 居たのだよ
おったかい おったかな おったきやー 居ましたか
おったがさいご 居たからには 居た以上は 居たりしたら
おったけん おったせん おったで おったでか 居たので
おったち おっどみ おっどん 俺たち 我ら
おったっじゃっとん おったてー おったとん 居たのだが
おったまぐる おったまげる 魂消る 驚く surprise
おったろう おっつろうば おろうば 居るならば
おったろう おったろが おったろもん 居たでしょう
おっちや おっでん おりっちや 俺でも 俺にだって
おっちやー おりちやー おれちやー 俺だって 俺ですか
おっちやいかす おっちやかす 落とす fall
おっちやいけた おっちやえた おっちやけた 落ちた
おっちやかー おっちやかいや おっちやかんね 居るのではないか
おっちやっとん おっとん 居るが 居るけど
おっちやもね おっとじゃもね おっちやん 居ますよ
おっちやろう おっとじゃろう おっちやろもん 居るのでしょうか
おっちやろかい おっとじゃろかい おっちゅうかい 居るだろうか
おっちやんば 居ますよ 居るよ《牛深》
おっちゅかい おっちゅうかい 居るだろうか 居るものか
おっちよこちよい 慌て者 剽軽者 funny 軽薄な人《京》
おっつけ 古語【追っ付け】間もなく やがて《日ポ・京》
おっで おっでか おるけん 居ますから
おっですか おっとー おっとですか おっとね 居ますか
おっと おっとばな おりやすと 居ますよ 居るよ
おっどー おっどが おっどもん 居るでしょう
おっとがー おっとぞ おっとばえ おっとべ 居るのだよ
おっとかい …きやー …け …ね …や 居るかい
おっどかい おっどかにや おりーろ 居るだろうか

おとぎりゃ …ぎんにゃ おつとなろ 居るならば
おつとしたこつが 俺としたことが 俺らしくもない
おつとつた 奪い取った 取り上げた
おつとつとつと 奪い取っているのだ 取り上げているのだ
おつどま おどま おどみや おどんな 俺共は 我らは
おつどみ おつどん おどみ おどん【俺共】 俺たち
おつどめ おどめ【俺共に】 俺たちに
おつどもん 居るでしょう
おつとらん 奪わない 取り上げない 外さない
おつとり《京》 おつとりしとる 大人しい 落ち着いている
おつとる 古語【押っ取る】 奪う steal 取り上げる 取り外す《日ポ》
おつとるな おつとんな 奪うな 盗むな 取るな 取り上げるな
おつとるる おつとれる 接合部が離れる 外れる
おつとれた 取り付けた部分が外れた
おつとろし 古語【恐ろし】 ②大したものだ《京》
おつとわつと おつとわりと 俺とお前と
おつどんげ おどんがえ おどんげ〈俺共の家〉 我が家
おつどんな おどんな【俺共は】 俺たちは
おつなもん【乙】 ②粋だね 粋なものだ
おっぺしゃん 不美人 器量の悪い娘 (罵言)
おつむ 頭 head (幼児語)《京》
おつゆ 古語【大御おつけ】 味噌汁 汁物《京》
おつる おてる【落ちる】fall 落果する 落雷する ②汚れが取れる
おて一た 落とした 紛失した 除去させた
おて一とる 落としている 紛失している
おてた【落ちた】 落下した 落果した 脱落した 除去した
おてち一とる 落ち着いている 安堵する relief ②安定した状態
おてつく【落ち着く】 安堵する 一段落する 落着する
おてとる 落ちている 落果 脱落 紛失している
おてのもの 得意なもの 自由自在に出来ること
おてん 落ちない ②降らない ③汚れが落ちない
おてんとさん 古語【天道】 天の神 天日 太陽 sun
オテンバ 《オランダ語》on ten boar お転婆 tomboy
おどう おどうざかい おどうざきや一 峰界 山境 分水嶺
おどおど〔擬態音〕^{オノマトペ} 恐れる 不安がる
おとがい【頤】 下顎 chin
おどかす 古語【驚かす】 驚かす 相手をびっくりさせる
おどきや一た おどけ一た 驚かした びっくりさせた
おとこぎ【男気】manly spirit 男気質 義侠心 義を通す
おとこぎれ 男の気配 男の存在 男性達《京》

おとこし おとこしゅう【男衆】男性群 下男 作男《京》
おとこで【男手】 男の労力 男の働き手 男の力 「男手が足りない」
おとこまさり 男より優れた女性 活発な女性 勝ち気な女性
おとさん おとつつあん《京》 お父さん father
おとし【落し】 欠落 ②鳥獣畏 「見落し」
おとし ポケット
おどし 脅すこと ②案山子 ③無能力者 《京》
おとしまえ〈落とし前〉 代償 見返り 決着
おどす【脅かす】 frighten 脅迫する 驚かせる
おとつい《日ポ・京》 おとて【一昨日】 yesterday
おどっこ 意地悪 悪口 悪態
おとっじょう おとっどん 弟上 younger brother 弟君
おどっだー 古語【己】 貴様等は〔君たち〕の卑語
おとつとる 劣っている 値打ちがない
おどっぼす おどっぼす【横道者】 横着者 乱暴者 狡い人
おとなしーもん 大人しいものだ ②静かだね
おとなしか 大人しい gentle じっとしている ②静かだ
おどぼうず おどぼず おどもん【横道者】 横着者 乱暴者
おどま おどみゃ おどんな【俺共は】 我らは
おどみ おどん【俺共】 俺たち 俺等
おどめ【俺共に】 俺たちに
おとらん 劣らない 負けていない
おどりゃー おどれー《京》 古語【己】 手前は 貴様（卑語）
おとろい おやおや おやまあ おう恐い ②大したものだ
おどろい おどろだ おどりやっしゅい 踊りましょう
おとろし おとろしい《京》 おとろしか 古語【恐ろし】 恐ろしい 怖い 不気味
おとろっしゃ おとろっせー(しえ) 怖がって
おとろしゅう 意外と 案外 驚くほどに びっくりするほど
おとろしゅうして おとろしゅうて 恐くて 不気味で
おともさたもなか おとんさたンなか【音沙汰無い】 音信不通
おどん【俺共】 俺たち 俺等
おないどし おにゃーどし《京》 おねーどし【同じ歳】
おながれ 下賜 身分の高い方から杯を受ける
おなぎ【鰻】 eel [う] の転音
おなご 古語【女御】 lady 女性 girl 婦人 woman 《京》
おなごぎれ 女の気配 女性の存在 女性たち
おなごし【女御衆】 女性群 ②下女 《京》
おなごで【女御手】 女の働き手 女の技量 ②か弱い 「女手ひとつで育てた」
女の労力 女の働き手 女的能力
おなごもん 女性用品 ②女性用の家紋

おなし《京》 おなしこ おなしこつ おなしこと 【同じ事】 equal
おなめ【牝 雌】 female 卵子を持つ動物 ②牝牛 雌牛 cow 《京》
おにび おねび おねぶ おねんぼ 古語【左義長】 鬼火焼き
おにゃーどし おねーどし《佐伊津 五和》【同い年】
おはつお 古語【御初穂】 神仏へ供える初物の収穫物
おぼじょう【小母上】 おぼやん おぼん《京》 中年婦人 小母 aunt
おばば【お婆さん】 old woman
おびー【重い】 heavy 「こん子はおびーもん」
おびーて〈尾引く〉 小魚を指先で捌いて
おびーもん 重いものだ 重いね
おびきだす【誘き出す】 騙して引き出す 悪事に誘う
おびく〈尾引く〉 小魚（キビナゴ・エタレ）を親指で捌く調理法
おひさま おひさん【お日様】《京》 太陽 sun
おびただしか【夥しい】 極めて多い 甚だしい
おひまち【お日待ち】 月待ち行事 二十三夜待ち《京》
おひめさん 臉の腫瘍 麦粒腫
おひらき【お開き】 終宴 酒宴の終了
おぶーい おぶーして おぶーて 重くて
おぶーなか おぶなか 重くない 軽い light
おぶか おむか おもか【重い】 heavy
おぶかっど おぶかる おむかっど 重いでしょう
おぶき〈重木〉 根太を受ける横木
おぶさー おむさー おもさー 重いな 重いものだ
おぶさもおぶさ おむさもおむさ おもさもおもさ 大層重い
おぶし おもし【重石】 重みを掛ける押し 錘 weight
おぶしゃー おぶせー《佐伊津 五和》 重たがる
おぶみんある おもみんある 重厚さがある
オブラート 《ドイツ語》 Oblate 粉薬を包む澱粉質の膜
おべんちゃら 追従^{ついで} おべっか お世辞 《京》
おぼえじょうね【覚え性根】 記憶力
おぼえとけ おぼえとれ 覚えておけ ②覚悟しておけ
おぼえとらん 覚えていない 記憶にない
おぼえん 記憶にない ②劣等生
おぼこ〈未通女〉 初心な娘 処女 virgin 《御領》
おぼつかなか 古語【おぼつかなし】 頼りない 気掛かりだ
おぼゆうごたる 覚えたい ②習いたい 習得したい
おぼゆる 古語【覚ゆ】 覚える 記憶する ②成績がよい
おまい《京・牛深》 おまえ 古語【御前】 あなた you
おまえ 古語【御前】^{おまへ} 神仏を祀ってある部屋 ②神仏や貴人の前
おまえさん 古語【御前】^{おまへ} [あなた] の丁寧語

おまえどま おまえどみや【御前共】 君たちは（目下）
おまけにや 付け加えて 付随して
おまやー おみやー おめーさん 君は 貴様は 手前は
おみき【御神酒】《京》
おめーがけんなか 思いがけない《佐伊津 五和》
おめーた 古語【喚く】^{をめ} 大声を出した わめいた 叫んだ
おめーてみる おめーてんど 大声で呼んでみる 叫びなさい
おめおめ 平気で ぬけぬけ 図々しく のうのうと
おめかいた おめかした おめかった 大声でお呼びになった
おめかん 古語【喚かぬ】^{をめ} 叫ばない
おめきつらかす おめきまくる【喚く】^{をめ} やたらと大声を出す
おめく 古語【喚く】^{をめ} 叫ぶ 大声を出す cry 《日ポ・京》
おめくな 叫くな 叫ぶな 大声を出すな 怒鳴るな
おめけ^{わめ} 叫け 叫べ 大声を出せ 怒鳴れ 呼べ
おめたっじゃがや おめたっちやがや 叫んだのだよ
おもいおもい 各人各様 人それぞれ
おもいがけのう おもいがけむのう おもいがけもなか 思い掛けなく 意外にも
おもいじゃーた おもいでやーた おもいでーた 思い出した
おもいろンわるか 食べ物の見栄えが悪い 薄汚い感じ
おもうごつかん おもうごていかん 思うようにならない
おもーさん おもさん 沢山 enough 仰山 存分《日ポ》
おもうたごつ おもうたごて 思い通りに 意のままに
おもうてもおらん 思っても居ない 思い掛けない
おもし【重石】^{おもし} 重みを掛ける押し 錘^{おもり} weight 《京》漬物重石
おもしろか おもしろか おもしろ おもしろもん【面白い】
おもしろかっど おもしろかっど おもしろしかろ 面白いでしょう
おもしろかっどか 面白いはずがない
おもしろかっどかい おもしろしかろかい 面白いだろうか
おもたごつならん おもたごてならん 思ったようにならない
おもぬる おもねる 古語【阿る】^{おもね} 追従する おべっかを使う
おもみンある 重要度がある 貫禄がある 落ち着きがある
おもや 古語【母屋】 本家 住居の中心《京》
おもしろかっど 面白いでしょう（白の逆転）
おもわしゅういかん おもわしゅうなか 好ましくない 望み通りでない
おもわんこつ 思い掛けないこと 予期しないこと
おやかた【親方】boss 職人の指導者 師匠 棟梁 master 主人《京》
おやざと 古語【親里】 実家 生家《京》
おやじ おやじさん おやっさん【親父】 父親 father
おやふこうもん【親不孝者】 親を大事にしない子 道楽者
おやもと【親元 親許】home 親の居住地

おやんとこれー おやんにき 親許 home 親の所に
おゆる 古語【生ふ】 生じる ②発芽する ③育つ
およぎえん およぎきらん およつきらん 泳げない
およぎきる およぎゆる およつきる 泳げる
およばれ ご招待 歓待 接待を受ける《京》
およびごし【及び腰】 浮き腰 本気で取り組まない態度
おらう おらぶ 叫ぶ shout 大声を出す《竜ヶ岳》
おらいた おらった 居た 居られた いらっしやった
おらした 古語【御座した】 いらっしやった《京》
おらじゃ おらじゃこて 居なさいよ 居るはずだ
おらじゃった おらんかった おらんじやった 居なかった
おらじゃま 居るはずだ 居ないことには
おらす《京》 おらっす おんなさる おんなす 古語【御座す おほまします】

【居る】の上代敬語 いらっしやる ご在宅
おらすかな おらすかなん いらっしやいますか
おらすちゃろかい おらすどかにや ご在宅だろうか
おらすですか おらすとですか いらっしやいますか
おらすと おらっと おんなはっと 在宅です
おらすど おらっど おんなはっど 居ると思います
おらすどかい おらりーろ 居らっしやるだろうか
おらすどもん おらっどもん 居るでしょう
おらすにーろ おらすりーろ おらっしーろ ご在宅だろうか
おらせい おらせっくれない 居させてください
おらっさん 上代敬語【御座さぬ】 不在です
おらっさんど おんなはらんど いらっしやらないでしょう
おらっさんば おんなはらんなら ご不在ならば
おらっさんちやつかい いらっしやらないのだよ
おらっさんとん いらっしやらないが 不在だが
おらっせば おらっそうば ご在宅ならば
おらっそうなもん ご在宅のはずだ
おらっちやかー おらっどもん 居るのではないだろうか
おらっちやろかい おらっどかにや 居るのだろうか
おらっと おりやすと 居ます 在宅です
おらなん おらにゃん おらんばん 居なければならぬ
おらぶ【叫ぶ】 大声で叫ぶ《日ポ 京》
おらりゆうきやー おらりゆうけー おらりゆうに 何で居られようか
おらる 上代語【御入やる】【居る・在る・来る】の敬語 いらっしやる
おらるつか おらるるか 居られようか 居れない
おられますか おんなすか いらっしやいますか
おられやす 居ます いらっしやいます

おられやっせん 居ません いらっしやいません
おられん 居ません 不在です 「誰も おられん」
おられん 居れない 「ぬくーして、おられん」
おられんがー おられんとん 居ないが 不在だが
おらん【居ない】 不在だ 《京》
おらんがー おらんとー おらんもねー 居ないではないか
オランダ Holland 〈隣寸^{マッチ}〉 match
おらんとがー おらんとさい おらんとん 居ないのだよ
おらんとかい おらんときゃー おらんとけー 居ないのか
おらんとがー おらんとぞー …とばえ …とばな 居ないのでしょ
おらんとじゃが おらんとじゃとん 不在ですが
おらんとな おらんとね おらんとや おらんな 居ないのか
おり おる【俺】 自分 I
おりーならん おりならん 居れない《御所浦 竜ヶ岳》
おりーろ おりろ 居るだろうか
おりえん おりきらん おりゃーえん おりゃーきらん 居れない
おりえん おりきらん おれえん おれきらん 降りられない
おりおうた おりようた 折り合った 馴染んだ
おりおり【折々】 時折 時々 時たま 間々
おりがえ おりげ おるげ【俺の家】 自宅
おりがごつ おりがごて おるがごつ おれんごつ 俺のように
おりがつ おりがと おるがつ おれんと 俺の物 自分用
おりくさる おりはたす おりやがる [居る]の卑語
おりぐりゃいらん おりごていらん 居る必要はない
おりげ おるげ〈俺家〉 おれんち 私の家 我が家 拙宅
おりげへんな おるげへんな 我が家では
おりげんし おるげんし 私の家族(親たち)
おりげんと おるげんと 自家用 拙宅の者・物 ②私の伴侶
おりしゃか おりっちゃ おるしゃか 俺さえ 俺でさえ
おりじゃか おりじゃなか 俺ではない
おりじゃが おりじゃとん おりたい 俺だが 俺だけど
おりじゃろう 俺としたことが
おりそうなもん おりゃーせんどかい 居そうだ
おりたか おりてゃー おろごたる 居たい
おりちけ おりつけ おりてけ おれてけ 降りてこい
おりっちゃ おりちや おりでちや おりでん 俺でも
おりな おりや おりゃー おんなー 俺のことですか
おりにつか おんにつか 居辛い 居たたまれない
おりまえ 留守番 居残り組 居なければならない
おります おりやす 上代敬語【おりやる】 居ます

おりも おるも おれん おんも 俺も
おりもおり おりもおりじゃある 俺としたことが
おりもじゃん おれンじゃん おんもじゃん 俺もそうだよ
おりゃ おりゃー【俺は】 私は
おりゃー おれゃー【折り合い】 折り合う 妥協する
おりゃーえん おりゃーきらん 居ることができない
おりやすど 居るでしょう 居ると思います
おりやすりーろ おりゃっしーろ 居ますやら
おりゃっせんがー おりゃっせんどん 不在ですが
おりゃっせんぞ 居ないのですよ 不在ですよ
おりゃな おりゃね おりゃわりゃ 俺はだね
おりろ おれろ 下りなさい 降りなさい ②妥協しなさい
おりん おれん 降りない ②妥協しない
おる【居る】be 居ます《京》
おるかい おるかな おるきゃー おるけ おるな 居ますか
おるがー おるさー おるよ 居るはずだ
おるがー おるばい おるばえ おるわい 居るではないか
おるがえ おるげ【俺の家】 自宅
おるぎっと おるぎりゃ おろうば 居るならば
おるけな おるけん おるしえな 居ますから
おるげんし【俺家の人】 俺の家族
おるごたる 居るようだ 居そうだ
おるみゃーもん おるめーもん 居ないでしょうよ
おるる 古語【折る】折れる 曲げて切り離す ②気持ちを抑える
おるる おれる 古語【下る】get down 下りる ②金が支給される
おるる 古語【降る】 乗り物から降りる ②霧や霜が降りる
おれ おれい おれえ おれな おれね 居なさい
おれー【俺に】 「俺一呉れ」俺に下さい
おれーた おれた 下した 下に置いた ②大根を擦った ③貯金を払い出した
④新品を使い始めた ⑤魚を捌いた ⑥枝を切り卸した ⑦鍵を閉めた
⑧墮胎した
おれーた おれた【降ろした】 低い所へ移した 降格した
おれーた おれた【卸した】 商品を卸売りした
おれーちから おれっから おれっかる おれっかり 下りてから
おれーつくれ おれつくれ 下ろしてください ②降ろして
おれーて おれて 下ろして ② 卸して ③捌いて
おれーなー おれーやー 俺にですか 俺にかい
おれーよかどん おれよかばって 居ればよいが
おれた【降りた】 下車した ②ゲームを止めた
おれちけ おれっけ おれーてけ 下りてこい 降りてこい

おればー おれなー 居なさいよ 居たらどうですか

おれん 折れない 折れにくい

おれん 下りない ②降りない 降伏しない ③妥協しない

おれん おんも 俺も

おれんいえ おれんうち おれんえ おれんち 俺の家 自宅 拙宅

おれんじゃん おんもじゃん 俺もだよ 俺も同じだ

おろ 古語【おろ】不良 不都合 不十分 ②不健康《日ポ》

おろいい おろいか おろえ おろよか 古語【おろよし】 良くない 粗末 粗悪
^{なおよざり}
等閑 neglect

おろいたか 痛みが和らいだ

おろいだり 半煮え よく煮えていない

おろーい おろーだ おろかい おろわい 居ましょう

おろうかい おろうきゃー おろうけー 居るものか

おろうがおるみゃーが 居ても居なくても

おろうごたなか おろうごつなか 居たくない

おろうに 居るものか 決して居ない

おろうまか おろんまか 美味しくない

おろおぼえ 古語【おろ覚え】 うろ覚え 不確かな記憶

おろおろ 狼狽する うろたえる 恐れ戦く 慌てる

おろかげん 古語【おろ】〈おろ加減〉 不調 体調不良

おろきげん 〈おろ機嫌〉 不機嫌 機嫌が悪い

おろきしょく 気分が冴えない 顔色が悪い

おろくえ 古語【おろ】 少なく食べなさい 減食

おろさん 下げない ②降さない

おろし ^{ふるい} 篩 穀物の選別に使う網目の道具

おろしか 粗末 拙い 悪い《湯島》

おろじゃもん おろじゃん 気分が冴えないのです ②体調が悪いのです

おろす 古語【下ろす】 下へ移す 引き出す ①枝を切り落とす ③魚を捌く

④大根を擦る ⑤新品を使い始める ⑥墮胎する

おろす【降ろす】 低い所へ移す 地位を退かせる

おろだ おろだい おろわい 居ましょう

おろちゅうび 塩梅が悪い 不出来 不具合 不調

おろちょうし 〈おろ調子〉 調子が出ない 調子が悪い

おろにえ 〈おろ煮え〉 生煮え 半煮え

おろふる 小降りになる

おろみぞか おろむぞか 可愛くない 可愛げがない

おろやけ 〈おろ焼け〉 生焼け 肉の生焼き rare

おろよか 古語【おろよし】 良くない 粗末 粗悪 ②^{なおよざり}等閑 neglect

おろんまか あまり美味しくない 不味い

おわつとる 生えている 「松茸ンおわつとる」

おわつとる 終わっている 済んでいる
おわらん 生えない 芽吹かない
おわる 古語【生^おう】 生ずる 芽生える
おん【牡 雄】 male 精子を持つ動物 動物の牡
おんきする【恩着す】 恩を売る 無理に恩を感じさせる
おんきせん 恩を売らない
おんしらず 受けた恩に報いない人 恩返しをしない人
おんだ おんたちやー 俺たちは《京・佐伊津》
おんたる【御樽】 お祝いに贈る清酒 祝い酒
おんどら おんどれ お前は（卑語）《京・佐伊津 楠浦》
おんな 居るな 「何時まっでん居んな」長く居るな
おんなー おんねー 居ますか
おんなし おんなじ【同じ】《京》
おんなさる おんなす おんなはる おんなる 古語【御座^{おは}す おほまします】
【居る】の上代敬語 いらっしやる ご在宅
おんなすか【御為す】 おんなすかなん ご在宅ですか
おんなっしえ(せ) おんなはりまっしえ 居てください
おんなっしえ(せ)ん おんなはらん いらっしやらない
おんのじ【御の字】 この上無い 有り難いこと《京》
おんば〈鬼齒〉 脱穀用の農具
おんはな【御花】 贈答品（花束） 御祝儀 祝い金
オンブ《ポルトガル語》 ombro おんぶ 背負う 負ぶう
おんぶ 背負う shoulder（幼児語）《京》
おんぶくるる おんぶくれる【溺れる】《牛深》
おんぼろ 古物 ぼろ《京》
おんも 俺も